

令和5年度 茨城支部事業計画

まえがき

令和元年6月に「原子力発祥地茨城から原子力の再興を」を旗印に設立した茨城支部は、今年6月に設立5周年を迎える。この間、原子力に対する逆風が吹き荒れるなかで、世界中が脱炭素社会を目指し、カーボンニュートラル政策を打ち出し始めた。

我が国においても、昨年8月、国の化石燃料を中心とした経済システム全体を変革するためのGX（グリーントランスフォーメーション）実行会議において岸田首相から、原子力の最大限活用を目指す方針及び地元の理解確保に国が前面に立って対応を行うとの発言があり、加えて原子力発電所の新規増設、リプレース、次世代原子力発電炉の開発などの方針が示された。この政府の方針転換は、原子力界全体に対する朗報であり、このチャンスを活かさなければならない。

この政府の方針及び国民会議本部との連携を前提に令和5年度茨城支部事業計画を定めることとする。

1. 設立5周年記念事業（第5回「原子力フォーラム茨城」）

基調講演

我が国の原子力政策を踏まえた原子力研究開発の進むべき方向について
パネルディスカッション

基調講演を踏まえた、地元議員、商工会、原子力関係者などによる討議

2. 人材育成機関（仮称：原子力大学校）の設立に向けた検討チームの設置

茨城支部の事業計画の柱の一つである原子力人材育成の支援活動として、今後の革新的な時代に相応しい人材育成機関の設立に向けて必要な検討を行うタスクフォースを設置する。

3. 茨城県議会有志、市町村「議員ネットワーク」との連携

茨城支部の活動に対する情報や意見の交換を行い、活動の成果に結びつくような連携をすすめる。

4. 財政基盤の強化

支部活動に対する地域住民の理解を深め、会員拡大をはかる。

第6号議案

5. 季刊誌「原子力の新潮流」の配布と情報交換

原子力会議の正会員、法人会員や地域オピニオンリーダーとの情報・意見の交換のために季刊誌を有効に活用する。

6. 活動基盤の強化

支部活動への参画、或いは協力者の拡大をはかる。

以上